



# すみだだより

令和8年4月6日 校長 深谷 純一

## 入学、進級、おめでとうございます。

今年も始業式、入学式まで桜の花が咲いており、本格的な春の訪れとともに令和8年度の新学期を迎えました。久しぶりの友達との再会、そして新しい学級、新しい担任との出会いを経て、それぞれの目標に向かって活動を始めます。どんな学びがあるか、どんな成長があるか、楽しみです。

改めまして、私は校長の深谷純一（ふかたにじゅんいち）と申します。本校着任2年目となりました。昨年度は、毎朝児童・生徒との挨拶から始まり、日々成長していく姿を見ることができ、私自身も元気ももらい、多くの気付きや学びをいただきました。保護者や関係者の皆様には心から感謝申し上げます。

明日の入学式には、小学部55名、中学部27名、高等部56名の新入生を迎え入れ、総計422名が学ぶ学校として教育活動を始めます。昨年度当初より48名・8学級が増えました。施設が狭小となってしまうこともありますが、既にご案内の通り小・中学部が分離・移転する墨田地区第二特別支援学校（仮称）の開校は令和11年度の予定です。今年2月に工事が始まりましたが、小・中学部が分離・移転までは現在の施設設備を工夫して使用し、教育内容もこれまで以上に充実させていくよう取り組んでまいりますので、ご理解ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

## 「この子らを世の光に」

昨年度、本校に着任した際にご紹介した話題ですが、この話題は東京都で初めて特別支援学校の教員になった方々向けの年度当初の研修を担当した際にも紹介しましたし、昨年度末に墨田区立小・中学校の特別支援学級合同送別会でも紹介しました。在校生の保護者の皆様には2度目となりますが、今一度紹介させて下さい。

私は平成8年度に当時の東京都立青鳥養護学校で働き始めましたが、自ら障害のある子どもたちへの教育について学ぶ中で、出会った「この子らを世の光に」、糸賀一雄さんの言葉です。糸賀一雄さんは、昭和21年、戦後の混乱の中で、戦災孤児を収容するとともに、知的障害児の教育を行う「近江学園」を創設しました。その後、次々に関連の施設を設立、昭和38年には重症心身障害児施設「びわこ学園」を創設しました。この施設は、東京都にある島田療育園と並んで、重症心身障害児施設の先駆けとなっています。「この子らに世の光を」当てるのではなく、「この子らを世の光に」としていくことが求められているとの考えです。東京都特別支援教育推進計画の基本理念でもある、「共生社会の実現に向け、障害のある幼児・児童・生徒の自立を目指し、一人一人の能力を最大限に伸長して、社会に参加・貢献できる人間を育成」にも通じている、普遍的な言葉だと感じています。

こうした先達の想いも大切にしながら、3月の卒業式でも引用した本校の校歌の中にある「じょうぶな体」「すなおな心」「やりぬく力」が児童・生徒の皆さんに確実に育つよう、保護者の皆様や地域のご支援もいただきながら、学校として専門性の向上に取り組むなどして頑張っていきます。子供たちが成長とともに「世の光」となる共生社会創りに向かって、教職員一同、努めてまいりますので、今年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

**全校保護者会**  
4月13日(月)午前9時30分

新転任の教職員を紹介し、令和8年度の学校経営計画や年間行事予定等をお知らせします。終了後、小学部・中学部・高等部の学部保護者会、また学年保護者会もありますので、ぜひご出席ください。